

# 『アクティブラーニング・産学連携教育におけるPM入門』 アンケート集計

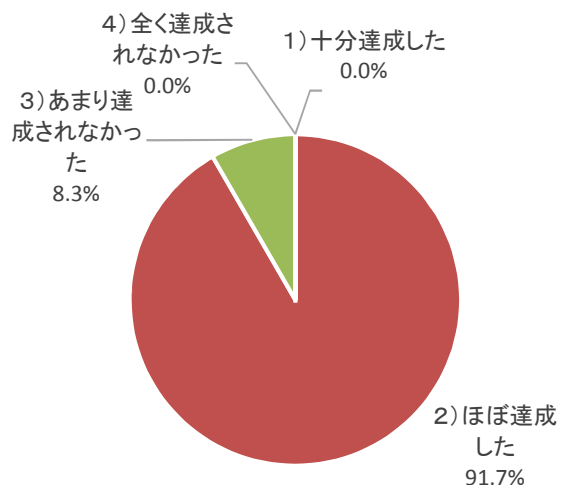
- 実施日:平成30年8月21日
- 場 所:株式会社ウチダ人材開発センタ
- 回答者:専門学校教員 12名 (受講者:12名)
- アンケート結果

## Q1.この研修を受講された目的は？

- ・入学学生の人数を増加させるためにはプロジェクトが必要。授業を行う上でもプロジェクトが必要だと思ったため。
- ・学生がチームで動く教育、指導の参考
- ・プロジェクトマネジメントについて深く学びたかったため
- ・多くの企業と連携の機会があるため、プロジェクトの進め方の勉強をしたいと思い受講した。
- ・マネジメント知識向上
- ・授業でPMの考え方を学ばせたいと思っているため
- ・学生たちに実践させたいと思ったため
- ・医療事務実習においてプロジェクトを運営する手法を学びたいと思いました。
- ・教務のみの経験だけだったので、異なった視点で見られる様に、また、その視点が持てるように。
- ・産学連携教育授業または情報処理技術育成等に関して、改めてPMの知識と手法を知りたかった。
- ・卒業制作、クラス運営にPMを活用したい
- ・産学連携授業を実施する予定があるため

## Q2.上記目的はどの程度達成されましたか？

項目	回答数	%
1)十分達成した	0	0.0%
2)ほぼ達成した	11	91.7%
3)あまり達成されなかった	1	8.3%
4)全く達成されなかった	0	0.0%
合計	12	100.0%

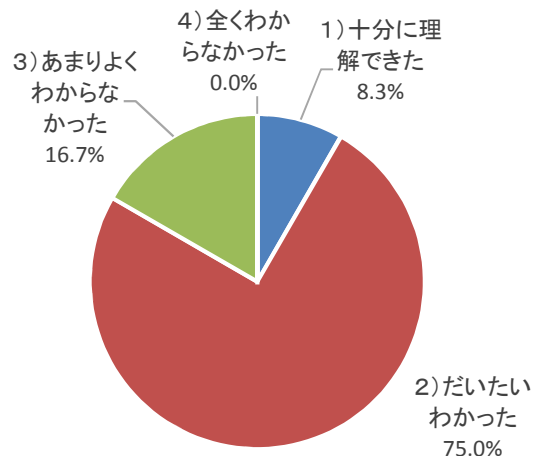


### <3)また4)の理由>

- ・对学生の実習という限定された点で。  
組織・職員間のマネジメントという点や新しい行事を行う上での計画の立て方については理解できました。

**Q3. プロジェクトマネジメントについて理解し、計画作業の一部を体験することで、プロジェクトマネジメントの手法を授業運営に生かす方法について理解することができましたか？**

項目	回答数	%
1)十分に理解できた	1	8.3%
2)だいたいわかった	9	75.0%
3)あまりよくわからなかった	2	16.7%
4)全くわからなかった	0	0.0%
合計	12	100.0%



〈3)また4)の理由〉

- ・授業として使うには、今後よく整理したいと思います。
- ・どれだけ理解出来たかどうか、運営に生かされるかどうかは、もう一度Reviewする必要があります。

**Q4. 今回の研修について良かった点や悪かった点など感想をお聞かせください。**

- ・細かく計画を立てるのが苦手だったが、もう少し気軽に考え分析していく必要があると思った。
- ・より学生へのラーニングの視点多い方が良い。
- ・ワークを取り入れていただいたこともあり、分かりやすく教えていただきました。ありがとうございました。
- ・プロジェクトの構造を分解して理解することが出来、勉強になりました。
- ・タイトル アクティブラーニング要素が良く分からない。
- ・時間が足りなかったのが、2日間あると良かった。
- ・分かりやすい説明があり、実際に取り組んでみて授業に生かせる方法を教えていただきました。
- ・自分の目標である(目的である)ことのベースが出来たので、その点は良かった。
- ・これまで知識のみの部分が多かったが、ワークショップをすることを体験することで、何のために、そのようなことをすべきかを理解できた気がする。
- ・前半講義、後半演習の流れが分かりやすく、演習では正解も配っていただいて、分かりやすかったです。テンポ良く進めていただき、わかりやすかった。もっと時間が欲しかった。
- ・学校の授業で実際に使われた教材などや例があれば教えて頂きたかったです。

**Q5. 今後の研修会で取り上げてほしいテーマなどをお聞かせください。**

- ・専門学校への入学者を増加させるためのプロジェクトの具体的な方法
- ・アクティブラーニング手法、入門。デザインシンキング入門。
- ・アクティブラーニングを取り入れた講座
- ・システム開発に関するワークショップ、当たり前かもしれないが、オブジェクト外指向を用いた設計について
- ・アクティブラーニングとして、学生を能動的考えるためのテクニックなどあれば知りたいです。
- ・同じテーマをもっと詳しく(2日程度)で実施してほしい。

**Q6. その他のご意見、ご希望をお書きください。**

- ・"ITパスポート"という検定対策授業の際に、「PMBOK」や「WBS」等の用語が出て来るのですが、今回の研修のように分かりやすく学生に教えてあげたいなと思いました。
- ・今回学んだことは、授業だけでなく、自身の普段の業務にも活かしていきます。ありがとうございました。
- ・配布資料説明は全てしてほしい。

- ・文科省の医療事務実習の標準化ということで、現在プロジェクトがあり、実証中です。  
このプロジェクトの実行の前にこのような計画があり、とてもすすめやすいものになっていたと思います。
- ・自分自身レディネスが出来ていなかった。参加者人選に配慮が必要かもしれない。
- ・大変参考になりました。学生に向けて実施できるか不安はありますが、まずはトライしてみたいと思います。

以上